

平成26年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書概要説明

三重県監査委員

平成26年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書概要説明

第1 審査の概要

決算審査の対象は、病院事業庁が経営する平成26年度の病院事業会計です。

決算の審査は、知事から提出された決算書類の内容について

- ① 決算の計数は正確であるか
- ② 決算諸表は、経営成績及び財政状態を適正に表示しているか
- ③ 予算は、議決の趣旨に沿って合理的かつ効率的に執行されているか
- ④ 事業経営は、常に経済性の発揮及び公共の福祉を増進するよう運営されているか
- ⑤ 借入資本金の負債計上、みなし償却制度の廃止及び引当金の計上義務化など、地方公営企業会計基準（以下「会計基準」という。）の改正に対応した会計処理が適正に行われているか

などを重点に、会計諸帳票、証拠書類との照合精査を行うとともに、必要な資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、併せて定期監査、例月出納検査等の結果を参考に、慎重に審査を行いました。

なお、本意見書に記載する平成26年度の計数は、会計基準の改正に対応した数値であり、25年度以前は旧会計基準に対応した数値です。

第2 審査の結果及び意見

1 審査の結果

病院事業の決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に則り、病院事業庁会計規程に基づいて作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められます。

また、事業の経営については、以下の意見のとおり留意又は改善を要するものを除き、概ね適正に処理されているものと認められます。

(以下、この概要説明においては、金額は万円未満を切り捨てています。)

2 審査の意見

(1) 平成26年度決算と新たな経営計画の策定等について

平成26年度病院事業会計の経常収支は、7,185万円の黒字であり、1億7,298万円の収支改善となっています。これは、会計基準の改正に伴い、長期前受金戻入を計上したことによるものです(従来の会計基準で試算すると、1億5,518万円の赤字)。

総収支は、13億2,527万円の赤字(純損失)であり、前年度に比べ11億647万円赤字額が増加しています。これは、会計基準の改正に伴い、退職給付引当金等として13億9,713万円の特別損失を計上したことによるものです。また、当年度未処理欠損金(累積欠損金)は、前年度より8,345万円改善したものの、93億8,282万円と、厳しい状況が続いていることから、引き続き、経営の健全化を図っていただきたい。

病院事業庁では「三重県病院事業 中期経営計画(平成25年度～平成27年度)」を策定し、各年度における成果目標等の進行管理を行っています。平成26年度においては未達成の目標項目が多くありますので、27年度が中期経営計画の最終年度でもあることから、

経営計画の着実な推進を図るとともに、今後も各病院がそれぞれの役割・機能を十分に発揮していけるよう、新たな経営計画を策定していただきたい。

なお、平成26年度の各病院の収支状況及び留意事項については、次のとおりです。

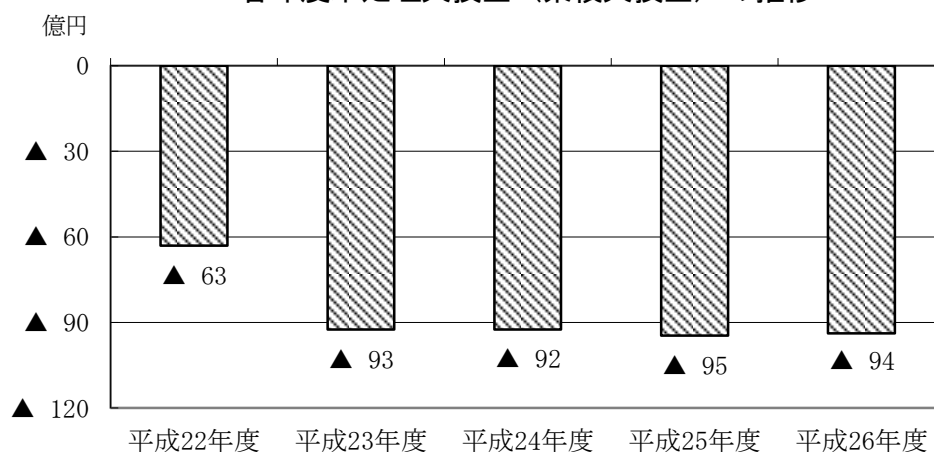
収益的収支の状況

(単位：円)

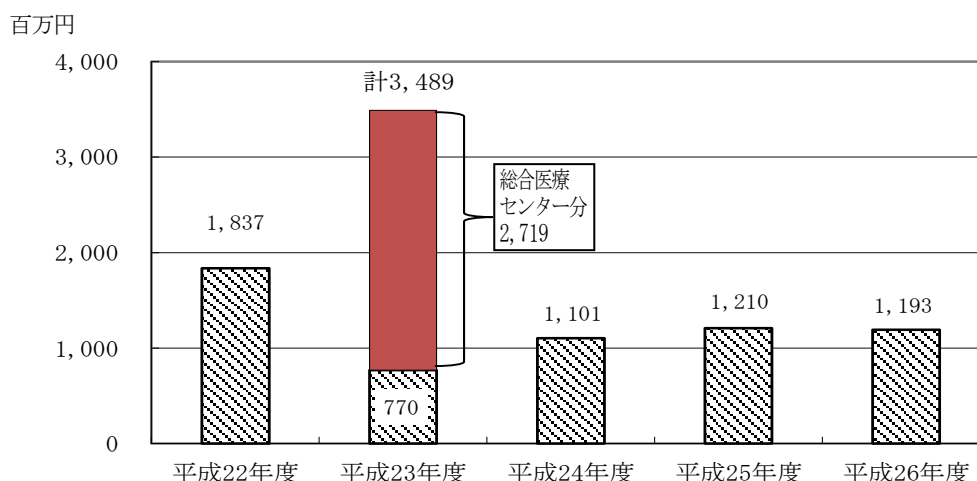
病 院 名	区 分	平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	増 減 (A) - (B)
こころの医療センター	経 常 収 支	64,156,361	2,958,378	61,197,983
	総 収 支	△ 1,038,517,839	△ 101,320,622	△ 937,197,217
一 志 病 院	経 常 収 支	21,703,843	24,386,661	△ 2,682,818
	総 収 支	△ 263,957,957	10,990,661	△ 274,948,618
志 摩 病 院	経 常 収 支	△ 14,005,882	△ 128,471,129	114,465,247
	総 収 支	△ 22,803,882	△ 128,471,129	105,667,247
計	経 常 収 支	71,854,322	△ 101,126,090	172,980,412
	総 収 支	△ 1,325,279,678	△ 218,801,090	△ 1,106,478,588

(注) 経常収支は、総収支から特別利益・特別損失を除いたもの。

各年度未処理欠損金（累積欠損金）の推移



正味運転資本(内部留保資金)の推移



(注) 正味運転資本(内部留保資金)

現金預金及び1年以内に資金の収入が見込まれる流動資産(貸倒引当金を除く)から、1年以内に資金の支出が見込まれる流動負債(企業債・引当金を除く)を差し引いたもので、資金繰りの状況を示す数値。

ア こころの医療センター

経常収支は、前年度に比べ6,119万円増の6,415万円の黒字となっています(従来の会計基準で試算すると、3,844万円の赤字)。

総収支は、会計基準の改正に伴い、退職給付引当金等として11億267万円の特別損失を計上したことにより、10億3,851万円の赤字であり、9億3,719万円収支が悪化しています。

このため、適切な病床運用による稼働率と診療単価の向上などにより、経営の健全化を図っていただきたい。

また、「入院医療中心から地域生活支援中心へ」という精神科医療の方向性を踏まえ、外来診療機能や訪問看護等地域生活支援体制の充実を図り、精神科救急医療などの政策的医療やアルコール依存症治療、認知症治療、精神科早期介入・予防などの高度・先進医療に取り組みまれています。引き続き、精神科医療の中核病院としての役割や機能の充実を図っていただきたい。

イ 一志病院

経常収支は、前年度に比べ 268 万円減少しているものの、2,170 万円の黒字となっています。

しかし、総収支は会計基準の改正に伴い、退職給付引当金等として 2 億 8,566 万円の特別損失を計上したことにより 2 億 6,395 万円の赤字であり、前年度に比べ、2 億 7,494 万円収支が悪化していることから、引き続き、収益の確保や費用の縮減に努めていただきたい。

地域の過疎化、高齢化が進み、医療に対するニーズがより一層高まっている中、幅広い臨床能力を有する家庭医（総合診療医）を中心とした家庭医療の提供と実践的で先進的な研究、へき地医療拠点病院として他の地域の支援、研修医や医学生の積極的な受入による人材育成などに取り組まれています。

引き続き、地域における医療ニーズを踏まえ、最適な医療サービスの安定的な提供に取り組んでいただきたい。

参考：「家庭医療」とは、臓器単位ではなく、患者それぞれの家庭や職場、地域などの背景も考慮した全人的な医療であり、医療、予防（保健）、介護（福祉）の連携を考えた包括的なケアを提供するもの（「三重県病院事業庁 中期経営計画」）。

ウ 志摩病院

経常収支は約 1,400 万円の赤字、総収支は 2,280 万円の赤字であります。会計基準の改正に伴い、長期前受金戻入額が計上されたため、前年度に比べ赤字額が経常収支は 1 億 1,446 万円、総収支は 1 億 566 万円、それぞれ縮小しています。

平成 24 年度から指定管理者制度を導入していることから、24 年度以降の三重県病院事業会計には、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれておりません。

そこで、志摩病院全体の収支状況を把握するため、病院事業会計の損益計算書と指定管理者から提出された収支報告書との合計額を前年度と比較すると、経常収支が 1 億 4,906 万円、総収支が 1 億 4,026 万円それぞれ改善しています。

指定管理者にあつては、内科及び救急・総合診療科を中心とした常勤医師の確保などにより、診療体制の充実を図っているところではありますが、内科及び救急・総合診療科の常勤医師は、平成 26 年度当初の 17 人から 6 人減少して 27 年 4 月には 11 人となっており、診療機能の低下につながりかねません。平成 28 年度に伊勢志摩サミットの実施も控えていることから、指定管理者と十分な連携を図り、医師確保と救急体制の充実強化に向けて、早急に取り組んでいただきたい。

【参考】 志摩病院決算額 (対前年度比較:主な項目のみ)

(単位:百万円)

主な項目		平成26年度	平成25年度	増減	主な増減理由
		(A)	(B)	(A) - (B)	
収入	入院収益	2,127	2,037	90	○入院診療単価(一般病棟)の増 (H25:38,130円 → H26:39,786円)
	外来収益	840	834	6	○延外来患者数(一般)の増 (H25:64,610人 → H26:65,947人)
	負担金等	557	568	△11	○職員数の減に伴う現給補償の減 △14百千円
	長期前受金戻入	133	0	133	○地方公営企業会計基準の改正に伴う増
支出	給与費	2,161	2,139	22	○医師給の増 30百万円 ○看護師給の減 △34百万円 ○事務員給の増 8百万円 ○医療技術員給の増 4百万円
	材料費	647	641	6	○診療材料費の増 8百万円
	経費	866	853	13	○委託費の増 20百万円 ○修繕費の増 17百万円 ○消耗備品費の減 △24百万円
	減価償却費	399	369	30	○償却対象資産の増
	特別損失	9	0	9	○地方公営企業会計基準の改正に伴う増
医業収支		△1,066	△1,087	21	
経常収支		△432	△581	149	
総収支		△441	△581	140	

(注) 1 決算額については、県決算額と指定管理者決算額の合計額(参考値)である。県と指定管理者とのやりとりで二重計上となる収益・費用は除外している。

2 県から指定管理者への赤字補てんである経営基盤強化交付金(平成25年度:435百万円、平成26年度:382百万円)は含めずに比較している。

志摩病院における救急患者の受入態勢(平成27年4月1日現在)(△は隔週で対応)

	区 分	月	火	水	木	金	土	日・祝
内科系	昼 間 (8:30~17:00)	○	○	○	○	○	○	○
	準夜間 (17:00~22:30)	○	○	○	○	○	○	○
	深 夜 (22:30~8:30)					△	△	

外科系	昼 間 (8:30~17:00)	○	○	○	○	○	○	○
	準夜間 (17:00~22:30)	○			○	○	△	
	深 夜 (22:30~8:30)					△	△	

(2) 未収金の回収と発生防止について

平成26年度末における病院事業庁全体の診療費自己負担金の過年度未収金は、前年度と比べて373万円減少し、3,505万円となっています。

未収金の回収については、電話、文書、訪問等による督促に加え、裁判所を通じての支払督促、弁護士法人への回収委託を行っており、平成26年度中に588万円を回収しているところではありますが、引き続き回収に向けての取組を進めていただきたい。

また、平成26年度においては、396万円の未収金が新たに発生しているため、早期の回収に努めるとともに、未収金発生防止に向けた取組を継続していただきたい。

診療費自己負担金の過年度未収金

(単位：千円)

病 院 名	平成26年度末 (A)		平成25年度末 (B)		増減 (A)-(B)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
こころの医療センター	134	24,918	133	25,055	1	△ 137
一 志 病 院	14	478	18	478	△ 4	0
志 摩 病 院	72	9,658	105	13,258	△ 33	△ 3,600
合 計	220	35,054	256	38,790	△ 36	△ 3,737

- (注) 1 志摩病院に関しては、指定管理者による運営に移行する前の分（平成24年3月31日までに発生した分）であり、本庁（県立病院課）が所管している。
2 四捨五入処理のため、合計額が合わない場合がある。

未収金増減の内訳

(単位：千円)

病 院 名	新規発生	回収	会計上の減額処理等	計
こころの医療センター	3,888	3,642	383	△ 137
一 志 病 院	78	62	16	0
志 摩 病 院	0	2,177	1,423	△ 3,600
合 計	3,966	5,881	1,822	△ 3,737

第3 経営の概要

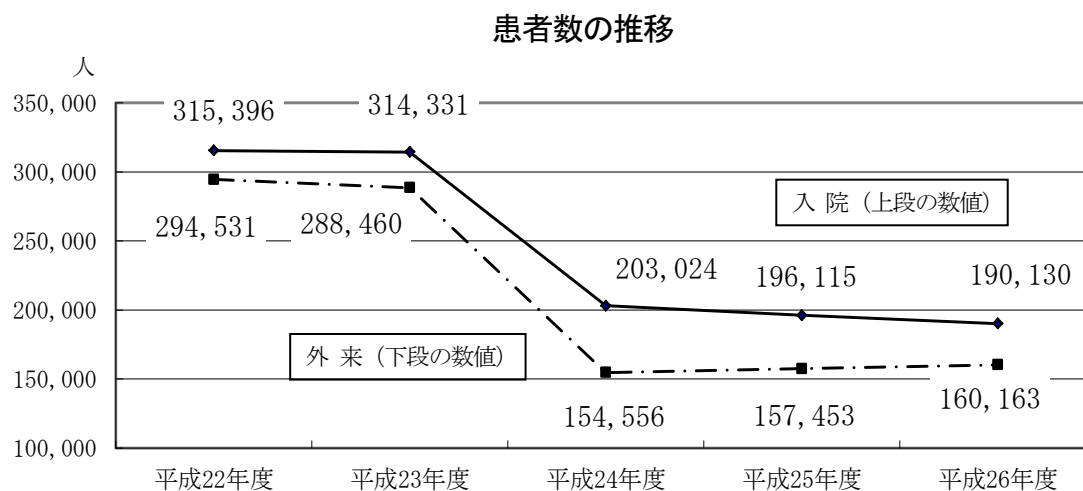
1 事業の概況

病院事業は、病院事業庁が総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を運営してきましたが、平成24年4月からは、総合医療センターが地方独立行政法人に移行したことから3病院になったほか、志摩病院については指定管理者制度を導入しています。

3病院の許可病床数は、平成26年度末時点で計836床ですが、一般病床のうち志摩病院では、103床が一時休床となっています。また、一志病院では療養病床44床が平成19年度から一時休床となっており、家庭医（総合診療医）の育成拠点としての整備を行うにあたって、24年4月から病床数を44床から40床に改めました。

なお、こころの医療センターでは、病院機能再編の取組の一環として、平成25年1月から52床を休床としています。

患者数の状況としましては、平成26年度の入院患者数は延べ190,130人（1日平均521人）で、前年度に比べ5,985人減少し、外来患者数は延べ160,163人（1日平均656人）で、前年度に比べ2,710人増加しています。



(注) 平成24年度以降、総合医療センター患者数は含んでいない。

2 経営成績

平成26年度の総収益は55億4,482万円であり、内訳は入院・外来収益等の医業収益が27億266万円、一般会計からの繰入金等の医業外収益が28億4,215万円となっています。収益は、主に会計基準の改正に伴う医業外収益の増により、前年度に比べ1億580万円増加しています。

総費用は68億7,010万円であり、内訳は給与費、材料費等の医業費用が51億8,649万円、企業債支払利息等の医業外費用が2億8,647万円、退職給付引当金等に係る特別損失が13億9,713万円となっています。費用は、主に会計基準の改正に伴う特別損失の増により、前年度に比べ12億1,228万円増加しています。

この結果、純損益は13億2,527万円の赤字となり、前年度に比べ11億647万円収支が悪化しています。

また、純損益から特別利益及び特別損失を除いた経常損益は、7,185万円の黒字となっています。

病院事業の収益的収支

(単位：円)

科 目	平成26年度(A)	平成25年度(B)	増減(A) - (B)
総 収 益	5,544,822,539	5,439,020,049	105,802,490
医 業 収 益	2,702,665,295	2,740,749,678	△ 38,084,383
医 業 外 収 益	2,842,157,244	2,698,270,371	143,886,873
特 別 利 益	0	0	0
総 費 用	6,870,102,217	5,657,821,139	1,212,281,078
医 業 費 用	5,186,494,598	5,271,821,751	△ 85,327,153
医 業 外 費 用	286,473,619	268,324,388	18,149,231
特 別 損 失	1,397,134,000	117,675,000	1,279,459,000
経 常 損 益	71,854,322	△ 101,126,090	172,980,412
純 損 益	△ 1,325,279,678	△ 218,801,090	△ 1,106,478,588

3 一般会計繰入金の状況

平成26年度の収益的収入の繰入金は、22億9,984万円であり、前年度に比べ1億338万円減少しています。減少した主な理由は、志摩病院への医療行政に要する経費等の減少に伴う繰入金の減によるものです。

資本的収入の繰入金は、7億4,541万円であり、企業債償還に対する繰入金の減により、前年度に比べ1,072万円減少しています。

繰入金の内訳

(単位：円・%)

項 目	平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	増 減 (A) - (B)	増減率 (A) / (B)	
こころの医療 センター	収益的収入	919,477,000	915,151,000	4,326,000	100.5
	資本的収入	212,237,000	214,353,000	△ 2,116,000	99.0
	計	1,131,714,000	1,129,504,000	2,210,000	100.2
一 志 病 院	収益的収入	321,158,000	321,118,000	40,000	100.0
	資本的収入	57,497,000	57,122,000	375,000	100.7
	計	378,655,000	378,240,000	415,000	100.1
志 摩 病 院	収益的収入	957,293,000	1,024,940,000	△ 67,647,000	93.4
	資本的収入	475,679,000	484,662,000	△ 8,983,000	98.1
	計	1,432,972,000	1,509,602,000	△ 76,630,000	94.9
県立病院課	収益的収入	101,917,000	142,022,000	△ 40,105,000	71.8
	資本的収入	0	0	0	-
	計	101,917,000	142,022,000	△ 40,105,000	71.8
合 計	収益的収入	2,299,845,000	2,403,231,000	△ 103,386,000	95.7
	資本的収入	745,413,000	756,137,000	△ 10,724,000	98.6
	計	3,045,258,000	3,159,368,000	△ 114,110,000	96.4

(注) 1 収益的収入＝建設改良に要する経費以外の繰入金
2 資本的収入＝建設改良に要する経費の繰入金

第4 病院別の状況

1 こころの医療センター

(1) 患者数の状況

平成26年度の延べ入院患者数は102,748人（1日平均282人）であり、前年度に比べ5,162人減少しています。延べ外来患者数は63,471人（1日平均260人）であり、前年度に比べ1,747人増加しています。

（患者数の推移のグラフは14頁に掲載）

(2) 経営成績

平成26年度の総収益は32億1,293万円であり、会計基準の改正に伴い長期前受金戻入額を計上したことにより、前年度に比べ9,915万円増加しています。

総費用は42億5,145万円であり、会計基準の改正に伴い退職給付引当金等を特別損失に計上したことなどにより、前年度に比べ10億3,635万円増加しています。

総収支は、前年度に比べ9億3,719万円悪化し、10億3,851万円の赤字となっています。

（総収益と総費用の推移のグラフは15頁に掲載）

2 一志病院

(1) 患者数の状況

平成26年度の延べ入院患者数は12,305人（1日平均34人）であり、前年度に比べ724人減少しています。延べ外来患者数は21,565人（1日平均88人）であり、前年度に比べ489人減少しています。

（患者数の推移のグラフは14頁に掲載）

(2) 経営成績

平成26年度の総収益は8億8,267万円であり、外来診療単価の減等に伴う外来収益の減により、前年度に比べ429万円減少しています。

総費用は11億4,663万円であり、会計基準の改正に伴い退職給付

引当金等を特別損失に計上したことなどにより、前年度に比べ2億7,064万円増加しています。

総収支は、前年度に比べ2億7,494万円悪化し、2億6,395万円の赤字となっています。

(総収益と総費用の推移のグラフは15頁に掲載)

3 志摩病院

(1) 患者数の状況

平成26年度の延べ入院患者数は75,077人(1日平均206人)であり、前年度に比べ99人減少しています。延べ外来患者数は75,127人(1日平均308人)であり、前年度に比べ1,452人増加しています。

(患者数の推移のグラフは14頁に掲載)

(2) 経営成績

平成26年度の総収益は13億4,385万円であり、会計基準の改正に伴い長期前受金戻入額を計上したことにより、前年度に比べ5,291万円増加しています。

総費用は13億6,665万円であり、経費(交付金)の減等により、前年度に比べ5,274万円減少しています。

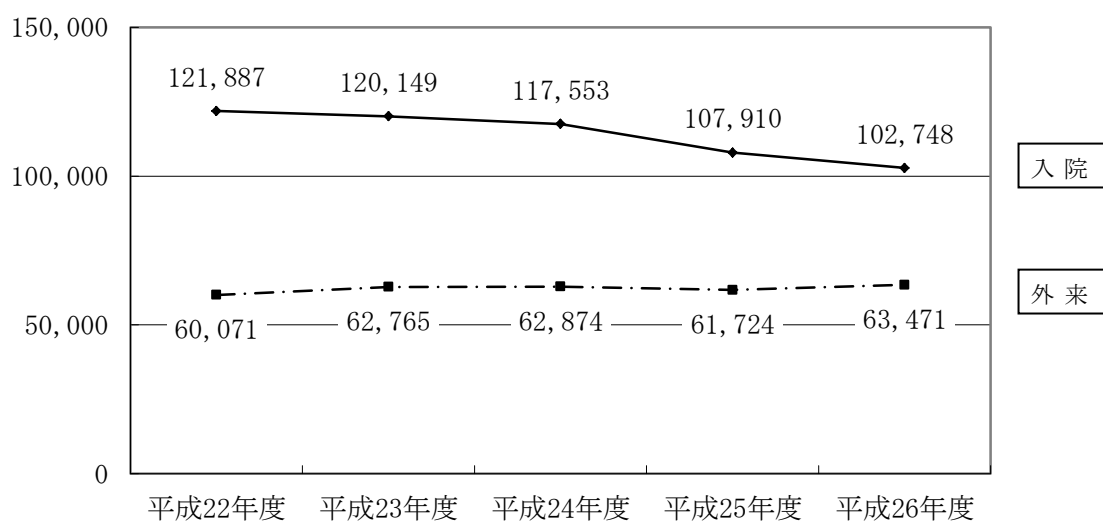
総収支は、前年度に比べ1億566万円改善し、2,280万円の赤字となっています。

(総収益と総費用の推移のグラフは15頁に掲載)

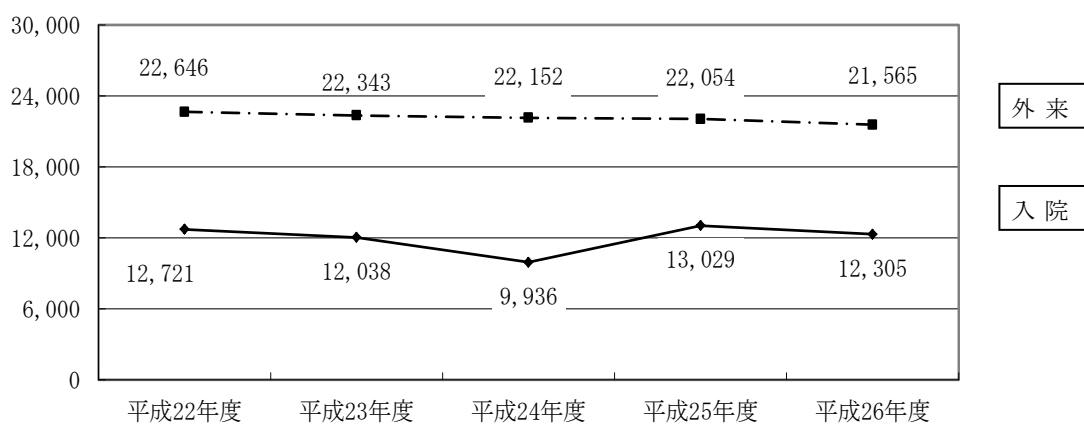
(参考)

患者数の推移 (単位:人)

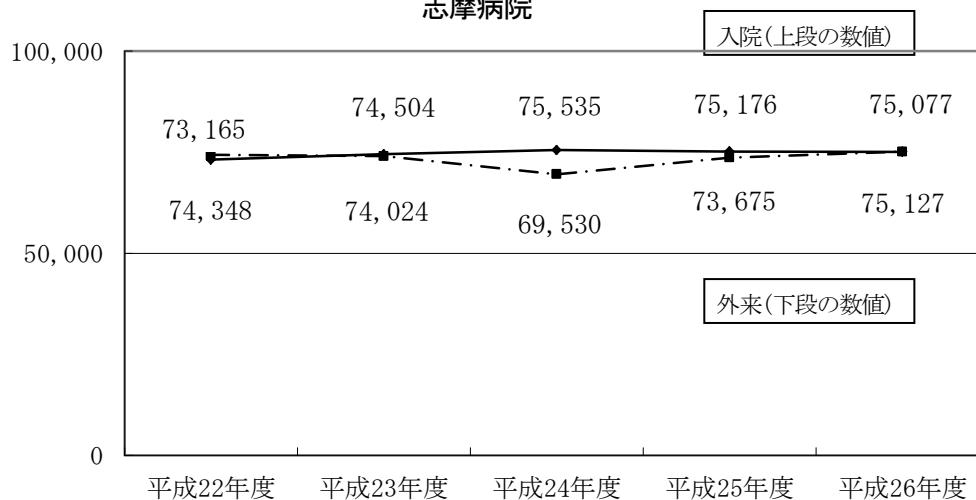
こころの医療センター



一志病院

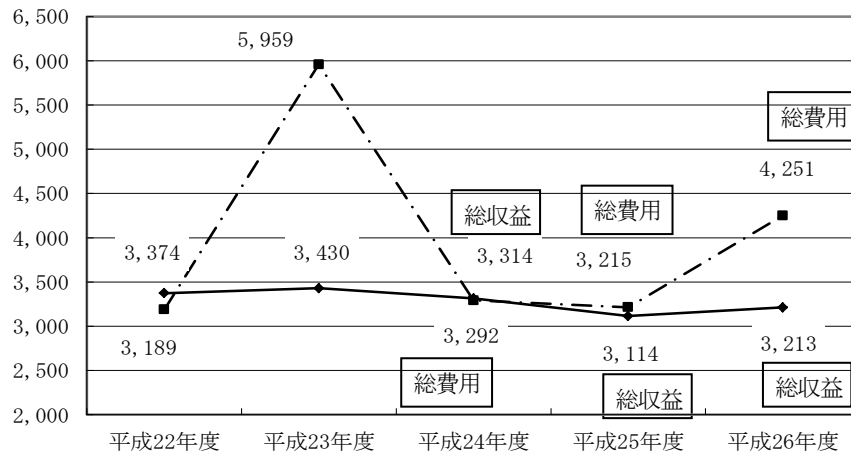


志摩病院

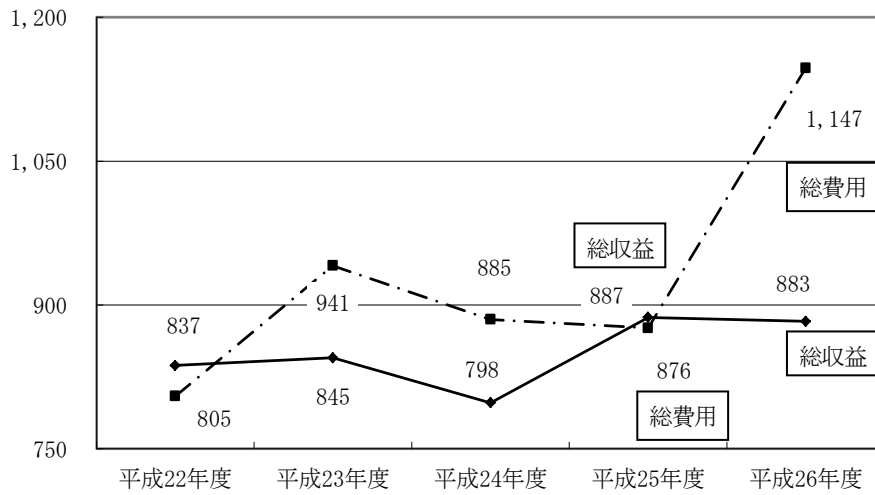


総収益と総費用の推移（単位：百万円）

こころの医療センター



一志病院



志摩病院

